

保護者等からの放課後等デイサービス事業所評価の集計結果(公)

公表:令和 年 月 20日

事業所名 こぼんはうすさくら 丸塚東教室 保護者等数(児童数) 12 回収数 12 割合 100 %

	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた 対応
環境・ 体制整備	1 子どもの活動等のスペースが十分に確保されているか	11			1	部屋などのスペースをあまり知らない。活動スペースは広く、十分に確保されています。広々とした空間でした。	年に1度の親子イベントなどを活用したり、契約時などに案内をする時間を設けていきます。
	2 職員の配置数や専門性は適切であるか	9			1	専門性や資格など、誰が持っているのかわからない。職員の人数が分からない。お便りで知らせてほしいです。	保護者の皆様へ職員紹介ができるように、お便りの発行などを検討していきます。
	3 事業所の設備等は、スロープや手すりの設置などバリアフリー化の配慮が適切になされているか	9			3	設備等、室内を知らない。	設備や室内を知ってもらえるように、イベント時や契約時に案内をしていこうと思います。
適切な 支援の 提供	4 子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画*1が作成されているか	12				保護者の意見を取り入れた計画を作ってくれています。計画支援を意見しながら出来ている。	今後も保護者の方や、子どもたちの意見を取り入れながら、計画書の作成をしていきます。
	5 活動プログラム*2が固定化しないよう工夫されているか	10			2	いろいろなイベントをやってくださるので、子どもがとても喜んでます。固定化しているかどうか分からない。	活動やイベントが固定化されないよう、工夫していきます。
	6 放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会があるか	3			7	他の施設の子との交流は聞いた事がない。	今後障害のない子との活動を、検討していきます。
保護者 への 説明等	7 支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明がなされたか	10	2			一番初めに入る時、説明があった。分からないことや疑問に思ったことをその都度丁寧に答えてくれる。	今後も不明な点、問い合わせにも丁寧な対応を心掛けていきます。
	8 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解ができているか	12				悩みや日常生活、通院状況については伝えて相談共有できている。リトムや送迎時に子どもの状況や様子を伝えてくれて、とても親身になって考えてくださっていると感じます。	職員間での子供の様子の共有をしながら、保護者の方と連携や、様子の共有をしています。
	9 保護者に対して面談や、育児に関する助言等の支援が行われているか	12				面談はあまりないが、何かあった時は伝えてくれる。	保護者の話に耳を傾け、個々に応じて面談が必要であれば、機会を設けていきます。
	10 父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により保護者同士の連携が支援されているか	4	1	2	5	父母の会の活動支援や保護者会の開催は基本ないイメージ。保護者同士の交流もないので知らない事も多い。	保護者会の開催はありませんでしたが、保護者の意見を元に検討していきます。
	11 子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知・説明し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	8			4	話をきちんと聞いてくれる。対応してくれていると思っている。苦情を出したことがないので分かりません。	苦情があった場合は速やかに対応し、職員間での共有、保護者の方へ納得出来る説明を心がけ、対応をしていきます。
	12 子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされているか	11			1	話をすることはあるが、そこからの先の事は分からない。リトムに記入していただいているので、伝わっています。	今後も保護者の方との情報共有や、丁寧な説明を心がけていきます。
	13 定期的に会報やホームページ等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信しているか	9	1	1	1	インスタグラムの投稿を増やしてほしい。インスタグラムの投稿を早くしてほしい。イベントの様子が知りたい。自己評価の結果が何なのかわからない。	日々の様子や、イベント時などの投稿を引き続き行っていきます。投稿数や速度など改善できるように努めていきます。
14 個人情報に十分注意しているか	11			1	個人情報については分からない。モザイクをかけてくれてるので安心です。	個人情報の取扱いには十分に注意していきます。	
非常時 等の 対応	15 緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、保護者に周知・説明されているか	11			1	マニュアルの紙も頂いている。	マニュアルの周知、説明、定期的な見直しをしていきます。
	16 非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練が行われているか	11	1			訓練に参加は(子供が)少ないと思います。避難訓練をしているのは知っているが、子供の出席日でない事も多いのかもしれない。	子どもの利用日にも配慮しながら、避難訓練の実施をしていきます。
満足 度	17 子どもは通所を楽しみにしているか	11	1			毎日行くのを楽しみにしている。職員・友達が大好きな様子。イベントもあり、参加に意欲的嫌と言うことはない。	通所を楽しみにしてもらえよう、活動や支援方法を考えていきます。教室の環境や雰囲気作りも工夫していきます。
	18 事業所の支援に満足しているか	11	2			ダメな時もしっかり伝えてくれるのでいつも感謝しています。給食や調理体験で食べたものを知れると安心。週のリターンを増やしたかった。	今後も子どもたちに寄り添いながら、支援していきます。

175 8 3 27

82%

放課後等デイサービス事業所における自己評価結果(公表)

公表:令和 年 月 20日

事業所名 こぼんはうすさくら 丸塚東教室

	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	1 利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	4		スペースは十分に確保されている。	児童のニーズに合わせて、改善できる所がないか、その都度見直して行こうと思います。
	2 職員の配置数は適切である	3	1	職員の人数は適切である。	状況に応じて職員同士、臨機応変に対応していきます。
	3 事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされている	4		室内の段差や、部屋、廊下などの段差は解消されている。	車椅子等での移動は不可能な所があるので、必要に応じて、車椅子でも移動できるように、環境作りを検討していきたいと思います。
業務改善	4 業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している	3	1	参画出来ている。	PDCA サイクルを理解出来ていない職員もいたため、広く周知できるように徹底していきます。
	5 保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	4		アンケートに基づき、改善や新たな取り組みを行っている。	アンケートを基に、職員で情報を共有し、改善に努めていきます。
	6 この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開している	3		ホームページの掲載はされている。	ホームページなどを確認したことのない職員もいたため、全員が周知できるようにしていきたい。
	7 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている	3	1	行政からの助言や、定期的説明会の内容を業務に反映している。	助言を基に、業務改善が出来るよう、引き続き取り組んでいきたい。
	8 職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	4		外部研修への参加する機会がある。	研修参加の偏りがある、どの職員も参加できる環境に改善出来たら良い。
適切な支援の提供	9 アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成している	4		職員間でのミーティング、日々の様子などを記録し、家族などの意見も取り入れながら作成できている。	子どもや保護者のニーズに合わせて、計画を作成していきます。
	10 子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用している	3	1	ツールを使用し、作成している。	支援統一のためにも、アセスメントツールを使用しながら支援を行ってまいります。
	11 活動プログラムの立案をチームで行っている	4		職員同士で話し合いをしながら、活動を決めている。	活動のプログラムをチームで話し合いながら、より良い活動が出来るようにしていきます。
	12 活動プログラムが固定化しないよう工夫している	4		子どもの人数や様子で、その都度臨機応変に対応している。	人数や子どもの状況によっても、工夫した活動が出来るようにしていきます。
	13 平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援している	4		宿題の様子や、個々の様子を見ながら、イベントや活動を実践している。	平日や長期休みなど、子ども達の状況に合わせて臨機応変に対応していきます。
	14 子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成している	4		日々の活動の中で個別、集団を意識しながら作成している。	その子の状況に応じて、課題を見極めながら、個別活動や集団活動を組み合わせしていきます。
	15 支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	4		朝・帰りのミーティングで話し合い、それぞれの役割を担っている。	1日の流れを確認することで、それぞれの支援内容を把握していきます。
	16 支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気づいた点等を共有している	4		毎日振り返りを行い、職員間で共有をしている。	朝や帰りの時間を使い、振り返りを行い、気づいたことなど、共有していきます。
	17 日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	4		業務日報や個別での記録を付け、その都度支援の方法や改善点を話しあっている。	職員間で支援内容を共有し、状況や様子など記録を取るようになっていきます。
	18 定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断している	4		子ども達に変化があった場合は、話し合いをし、見直しを行っている。	半年に一度の担当者会議を行い、支援内容の見直しをしていきます。
	19 ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ支援を行っている	2	2	活動のプログラムを立て、実践している。	職員の全員が周知していなかったため、周知を徹底していきたい。
	20 障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	4		担当者がその都度参加している。	担当者が参加していますが、日頃の支援に携わっている職員も参加できる機会を設けていきたいです。
	21 学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っている	4		学校送迎時に情報共有をしている。	随時学校と連携を取りつつ、情報共有をしていきます。

関係機関や保護者との連携	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えている	3	1	該当者なし。	今後、そういった子どもたちが利用した場合は連携を取っていききたい。
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めている	4	4	かけはしシート、園訪問など連携を取っている。	今後も幼稚園やこども園との連携を取り、情報の共有が出来るようになっていきたい。
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等している		4	対象児童がいないので、ありません。	現在は対象児童がいないが、今後移行する児童がいる場合は、各所との情報共有、連携が出来るようになっていきます。
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	3	1	相談事業所との連携をしながら、支援をしている。	引き続き連携し、支援に繋げていきます。必要に応じて研修会への参加も、積極的に取り組んでいけるようになっていきます。
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会がある	1	3	他教室との交流の機会はある。	今後機会を設けていくかは検討していきます。
	27	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加している	1	3	担当者が参加している。	引き続き参加できるようにしていきます。
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	4		送迎時や、連絡帳を使用しながら子どもの様子の共有をしている。	送迎時だけでなく、その子の状況に応じて電話や面談などをする機会を設けていきたいと思います。
	29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っている	3	1	日々の中で助言や情報の共有はある。医療機関などは、関係者軽油で促しを行うことがある。	保護者の意見を基に、助言などをしていきます。必要に応じて、ペアレント・トレーニングが出来るように検討していきます。
保護者への説明責任等	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	4		見学、契約時に書面を見ながら説明している。	不明な点はいつでも答えられるように、していきます。
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	4	4	連絡帳や送迎時、必要に応じて面談をする時間を設け、支援しています。	日頃からの挨拶や、話しやすい雰囲気、環境作りをしていきます。
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している		4	父母の会は開催されていない。	年に一度、外部講師を招き講演会や親子イベントを開催していますが、父母会などは開催していません。今後検討していきます。
	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応している	3	1	苦情があった場合は管理者が中心となり、事実確認をし速やかに対応している。	保護者への対応や説明を迅速に行い、職員への周知、ヒアリングをしていきます。
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	4	4	行事案内をその都度配布し、イベントや日々の様子などはインスタグラムを活用しながら発信している。	定期的に発信できるように努めていきます。
	35	個人情報に十分注意している	4	4	SNSを使用する際は、顔や名前を隠している。守秘義務に基づき取り扱いをしている。	個人情報の取扱いには十分注意し、職員への定期的なアナウンスもしていきます。
	36	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	4	4	その子に合わせた支援を心がけている。	子どもたちに合わせた、分かりやすい支援を心がけていきます。
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている		4	地域の企業との交流はある。	企業との交流はありましたが、地域への交流はなかったため、今後参加していききたいと思います。
非常時等の対応	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知している	3	1	マニュアルを基に対応している。	職員への周知、保護者への説明が出来るようにしていきます。
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	4	4	担当者を決め、年に4回は必ず実施している。担当者を決め、様々な災害を想定している。	今後も各担当を決め、災害時を想定した訓練を実施していきたく思います。
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	4	4	研修への参加、担当者を決め対応している。定期的に職員への虐待意識調査を実施し、日々の対応方法も話し合いをしている。	マニュアル活用や研修会に参加することで、職員の虐待に対する意識向上に努めていきます。
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載している	3	1	基本的には身体拘束はしないよう努めている。やむを得ず身体拘束が必要な場合は、職員で対応の仕方を話し合い、保護者に同意を得てから対応をしている。	職員同士で対応の話しをし、保護者への説明、計画に記載をし、理解を得ていきます。
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	3	1	家族からの申告があり、対応をしている。	家族からの申告だけでなく、医師からの指示も提出してもらうように、改善していきます。
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	4	4	専用の様式を用いて行っている。その都度職員間で共有している。	職員全員が事例を周知し、改善できるよう話し合いをしていきます。